

きたがた 市議会だより

平成20年5月1日

No.130



すなあそび たのしいね♪ ——— 中保育園

未来・創造みんなでつくる北方町.....2

一 般 質 問3

平成20年度予算 未来・創造 みんなでつくる北方町

平成20年 第1回定例会

平成二十年第一回議会定例会は、三月七日に招集され二十一日までの会期で開かれました。

開会初日は、平成二十年度一般会計予算など十八議案の町長提案説明があり、その内一件の人事案件に同意しました。

第二日（十三日）は、総括質疑を行い、十七議案を所管委員会に付託しました。

第三日（十四日）は、六人の議員による一般質問を行いました。

最終日（二十一日）は、各委員長からそれぞれ付託された議案の審議経過・結果の報告を行い、最後に一件の意見書が議員から提案され、いずれも原案のとおり可決し閉会しました。

平成二十年度一般会計予算 総額50億1,100万円

住民参加型行政システムの役割の重要性の認識と、先に策定した行政改革大綱により、まちづくりが進められています。

町の活性化を促す町制一二〇周年記念事業をはじめ、北方中学校のプール改築工事や大地震等の速報情報システムの整備、保育園の耐震化工事等の防災対策の推進、子育て支援助成金支給事業等の少子高齢化対策等の福祉・教育・防災関係に予算措置されました。主な事業は次のとおりです。

○福祉関係

- ・子育て支援助成金 二、一六六万円
- ・乳幼児医療費の助成 五、三〇五万円
- ・こんにちは赤ちゃん事業 三〇万円
- ・妊婦一般健康診査受診料の助成 六三四万円

○教育関係

- ・能力開花推進事業 二二六万円
- ・心の教育推進事業 一五〇万円
- ・北方中学校プール建設工事 一億四、五〇〇万円

- ・北方西小学校体育館の屋根改修工事 六四二万円

○防災関係

- ・全国瞬時警報システム整備工事 八〇〇万円
- ・町内消火栓とホース格納箱等の新設・修繕 二九〇万円
- ・中、北保育園及び児童館の耐震補強・大規模改修工事 七、六〇六万円

特別会計予算 総額29億1,900万円

- 国民健康保険会計 十七億七、八五二万円
- 老人保険医療会計 一億一、九八二万円
- 下水道事業会計 六億五、六〇〇万円
- 上水道事業会計 二億二、八二八万円
- 後期高齢者医療会計 一億三、七二九万円

副町長の選任に同意

副町長の空席に伴い、山本繁美氏（前参事兼総務課長）の任命に同意しました。

可決した条例

主なものとして、各種制度変更に関する改正並びに地方自治法の改正に伴う規定の整備を行なう改正を可決しました。また、後期高齢者医療に関する条例制定について、七十五歳以上の高齢者を対象にその心身の生活実態を踏まえて、高齢者にふさわしい医療が受けられる制度、その他の条例等を可決しました。

可決された意見書

混合型血管奇形の難病指定を求める意見書が可決され、関係機関に提出されました。（提出先）

- | | |
|--------|-------|
| 衆議院議長 | 河野洋平殿 |
| 参議院議長 | 江田五月殿 |
| 内閣総理大臣 | 福田康夫殿 |
| 厚生労働大臣 | 舛添要一殿 |

一般質問

北方町バスターミナル
構想について

安藤 浩 孝 議員



問

鉄道の廃線後、今こそ町の中心に新たな北方町の玄関口、バスの駅、バスターミナルが必要と考えます。町長の選挙公約であるバスターミナルの構想の概要・進捗状況についてお尋ねします。

答

町長

バスターミナルにつきましては、前副町長のもとで鋭意努力をしてきました。県営団地がハイタウンとして建設工事が進められており、その一角に設置すべく県との接渉を続けています。

・無償貸与には応じられない
・有償か等価交換で
・賃貸

との県からの回答であり、財源の捻出を含めてもう少し時間をいただき、県との話し合いを継続し、団地の中にバスターミナルの設置を考えて取り組んでいます。

これからの都市政策の要諦は交通網にあると思っています。この視点からも町内を走行する七本のバス路線のメリットを生かし、その効果を最大限引き起こすことが必要です。住民生活の利便性を図り、豊かなくらしを追求して参りたいと思っています。

問

身近な生活の足として「モレラ岐阜線」北方西部地区（加茂町、戸羽町、俵町、増屋町、梅野町、新加茂区画整理地区）のバス停新設について関係機関に申し入れをお願いします。

答

参事兼総務課長

再度、町内を走る路線の見直しも含めて、当地区に新しいバス停の設置ができないか岐阜バスと検討します。

問

バス停名称を公共施設名や大型店舗の名称を入れることにより路線がイメージされ利用促進に繋がると思いますがいかがでしょうか。

答

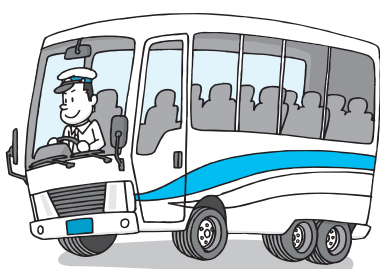
参事兼総務課長

内部協議して、その結果必要であれば、タイミング・時期もあるかと思いますが、岐阜バス等と見直しについて、協議、検討します。

答

町長

事業制度を研究し、バスターミナル構想が確実なものになるよう、積極的に取り組んでいきたいと考えています。



議会活動日誌

● 一月 ●

6日 本巣郡消防協会

出初め式

13日 町成人式

17日 町議会議員研修会

(第一回)

18日 議会だより編集委員会

22日 町政施行120周年事業第3回実行委員会

24日 農薬委員会

28日 町議会議員研修会

(第二回)

31日 郡町村議会議長会合同会議・懇談会

1月 町議会運営委員会

2月 全員協議会

3月 もとす広域連合議会運営委員会

4月 町議会議員研修会

(第三回)

5月 町議会議員研修会

6月 町議会議員研修会

7月 町議会議員研修会

(第四回)

8月 町議会議員研修会

9月 町議会議員研修会

10月 町議会議員研修会

11月 町議会議員研修会

12月 町議会議員研修会

問 地球温暖化へ対応するため、学生や老人の方へのバス券の無償配布でなく、繰り返し使用でき、環境保護にも繋がるアユカカード（ＩＣカード乗車券）の全戸配付また、導入の考えをお聞きます。

答 参事兼総務課長

バス交通の利用を促進する上でも、ＣＯ２削減問題についても、大変良い案だと思えます。岐阜バスの協力が得られれば従来の回数券に替えてアユカカードの配付が二十年度からできますが、次年度以降の助成の追加方法や折角助成しても換金されてしまうことが危惧され、その点も踏まえ、岐阜バスと導入に向けて協議していきます。

問 小中学生の通学路であり交通量も多く、朝夕の横断が危険な柱本交差点に、信号機の設置がされていないのはどうしてですか。関係機関に働きかけましたか。その時期をお聞きます。



柱本交差点

答 参事兼総務課長

平成十九年四月に交通量調査結果を添付し北方警察署を通じて公安委員会へ要望申請しています。信号機の設置は県警、公安委員会が毎年百件から百五十件の要望の内、四十件設置をしているという厳しい状況ですが、引き続き二十年度も北方警察署へ設置に向けて、強く要望していきます。

答 教育長

メインルートの本数と利用児童数・生徒数は次のとおりです。

北小 七本 四百八十九人
西小 三本 二百四十二人
南小 一本 五百三十五人
北中 七本 五百九十人
となっております。

通学路の危険箇所の確認は、小学校については、通学班があり、各学期の始めに班別集会を開いて危険箇所の確認や、不審者の出没すると思われる場所、通学の仕方等について話し合いを持ち、事故の未然防止に努めています。中学校では、校外生徒会単位で危険箇所の確認を行うと共に、MSJ（マナ・スピリット・ジュニア）による安全登下校活動、教職員やPTA校外生活委員による巡回指導、生徒指導主事の啓発活動などを通して、事故の未然防止に努めています。

問 小中学生の通学路の一筆書きでの本数とその利用状況や危険箇所の把握はされていますか。危険箇所について生徒や先生が話し合う機会がありますかお尋ねします。

小中学生の通学路の一筆書きでの本数とその利用状況や危険箇所の把握はされていますか。危険箇所について生徒や先生が話し合う機会がありますかお尋ねします。

町職員の増員について

中村 広一 議員



問 地方分権が進み、国や県からの移譲事務の増加やさまざまな制度改正に伴う町行政が担う事務量が増加し、職員の役割の重要性が益々大きくなってきています。北方町は全国自治体を見ても一般行政職員数も少なく、地域状況にあつた職員数の確保が必要ではないでしょうか。また民間企業で専門知識豊富な実務経験者の採用を實行され、組織内の変革・体制を整備することも重要課題ではないでしょうか。

13日	西濃環境整備組合議会
14日	全員協議会 町議会議員研修会 (第五回)
19日	もとす広域連合議会 定例会
20日	厚生都市常任委員会 もとす広域連合議会 定例会・療育医療衛生常任委員会
21日	もとす広域連合議会 定例会・老人福祉常任委員会・総務介護総務教育常任委員会協議会 町議会議員研修会 (第六回)
22日	もとす広域連合議会 定例会 町村議会議長会理事會
25日	町議会運営委員会 土地開発公社理事会 農業委員会
26日	本巣消防議会 社会教育委員会 町議会議員研修会 (第七回)
27日	
28日	

答 町長

現在の職員定数は百四十一人ですが、「北方町定員適正化計画」により、平成二十年度には百三十三人、二十一年度百三十人、二十二年度百二十九人となっています。国の方針である「新地方行政改革指針」で四・六％以上の職員数の削減を求められている中で、職員の健康管理には従来にも増して留意しながら、労働の質的向上に努めて、住民サービスを怠らぬよう心掛けたいと考えています。また、職員募集要件としては、従来どおり年齢制限等をしてしないで、幅広く応募していただけるよう、条件を整えておりたいと思います。

問

「きたがた鈴女」の復活は考えられないでしょうか。

答 町長

廃止された理由として、担ぎ手の不足によることと行財政改革によるもので、北方町の今の情勢下で行革路線変換と受け取られることは本意ではありません。従って、未だその環境にないものと認識を持っています。

問

現在給食センターでは、中国産は使っていないとのことですが、加工食品には原料として輸入食材が使用されていると言われています。

北方町はセンター方式を採用しているので数量的な問題はありますが、安心安全な食材を取り入れる意味で、岐阜県産のお米は使用しています。が、根菜類等の地産地消の取り入れをしていただきたいと思います。



学校給食について

日比 玲子 議員

答 教育長

安心安全な給食を提供することは基本的なことで、食材全て給食幹事会において厳選して供与しています。問題になりました中国産冷凍食品は使用しておりませんが、中国産のものは乾物類の一部に以前使用したことがあり、問題があつてから使用を控えています。国内産を使用しますと、約一割程コストが高くなります。根菜類の地産地消についても鋭意努力しているところで、お米はハツシモ、りんご・柿・キウイ・大豆・枝豆・椎茸・野菜類は極力岐阜県産を利用しています。なお値段との関わりもあり、必ずしも県内産だけで処理しにくいことをご理解願います。

問

給食費の未納について、北方町ではどのくらいあります。また、小麦の価格が三〇％引き上げられるなど物価の値上りですが、給食費は献立を工夫する等で、是非値上げをしないでいただきたい。

答 教育長

未納については、十八年度実績で滞納額四十九万五百円で二十五人となっています。千八百人のうち〇・六％にあたり生活困窮者の方の未納率が高いと思われます。

給食費の値上げについては国内産使用によるコスト高騰がありますが、現在のところ考えておりません。



おいしい、たのしい給食(中保育園)

● 三月 ●

31日	27日	26日	25日	23日	21日	19日	18日	17日	15日	14日	13日	11・12日	11日	10日	7日	6日	3日
町シルバー人材センター総会	北方まつり実行委員会	施設管理公社理事会 保育園卒園式	小学校卒業式 町村議会議長会評議会	町剣道大会 第三十七回選抜北方	議会定例会(第四日) 議会運営委員会	公害対策審議会 町立幼稚園卒園式	総務教育常任委員会	厚生都市常任委員会	男女共同参画講座	議会定例会(第三日)	議会定例会(第二日)	精読 北方中学校卒業式	行財政特別委員会 全員協議会	精読	町議会定例会(第一日)	本巣市給食センター 竣工式	未来タウン北方ふれあいまつり実行委員会

問 国民健康保険税を払えない人に資格証明書が発行されています。その方達の受診状況調査はされていますか。

答 住民保険課長

調査としては実施しておりません。資格証明書での受診状況としては、二月末で五件ありました。

問 平成十八年度国保会計の決算を見ますと、課税する分の半分以上に滞納繰越があり

また、北方町の徴収率は県下でも低く、徴収率の割合により調整交付金のカットされ、カット率は九%県下一位です。徴収率一%〜二%上げれば保険税が安くなるのではないですか。

答 住民保険課長

二月末の滞納繰越分の収納率は八・〇七%です。資格証明書の交付や戸別訪問による納税指導を実施し、長期滞納者で悪質な方については差し押さえ処分等の執行を実施します。納税義務の消滅した保険税については、不納欠損処分を実施することになります。

問 国保会計へ一般会計からの繰入については、千二百万円繰り出されているとのことですが、これは法令で定められた義務的経費ではありませんか。国保会計への繰入について、町長通信の国保の悲劇の中で、正直者がバカをみると書かれています。国保の保険者は町長です。そうならない様にするのが町長の責任ではありませんか。

答 町長

民意を満足させることばかり言うのが、政治家として必ずしも正しいとは言えない。選挙向けに甘いことばかり言っている、町民に見透かされて信頼を失う。住民にいやがられることも、政策遂行のうえに誠意を尽くし、説得する強さも必要で、住民の考え方を变えることも政治家の役割だと思っています。

国保税は三億八千六百四十万円の滞納があります。まじめにこつこつ働いて、国保税を納入している人達におおい被さってくる現実を無視をして、滞納している立場の人たちを擁護することは、社会正義に反し、また生活に困っている方に対して強引に徴収することはいたしておりません。趣旨を説明して誠意を持って、納めて頂けるように働きかけています。国保会計を守る方法として、滞納を減らして医療費を抑える努力をしなければいけないと思います。

問 後期高齢者医療保険制度

に関して、高齢者への説明会を実施されてはどうですか。また、今まで老人保健法で行われてきた一般検診での保健指導は、国保のほうへ移る部分があり、早期発見早期治療が大きく後退するのでないかと思われま。特定検診などの様になるのか、説明をお願いします。

答 住民保険課長

高齢者への説明会は、機会をとらえて実施できるよう、広域連合とも相談しながら検討していきたいと思っています。基本検診が特定健診に変わり検査内容が変わります。具体的には貧血検査や心電図検査が問診や前年度の検査結果により、実施が決定されることや、検診にかかる時間が短くなり、より多くの方が受けやすくなると考えています。その他の検診については、今までどおり実施する予定をしております。

広報誌に有料広告を

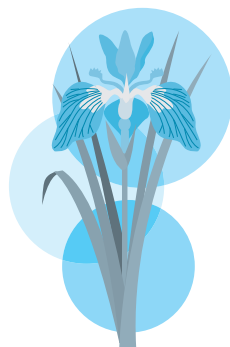
福井 裕子 議員

問 今、各自治体が行政改革

をきっかけ、厳しい財政状況を何とか改善しようとしのぎを削っています。北方町も新たな財源確保はないものかと考えます。その一環として、広報やホームページに有料広告を掲載しているところが出てきました。北方町も新たな行政経営を考えられる時だと思いますが、いかがでしょうか。

答 参事兼総務課長

議員の提案は、有料広告により収入増を図るものであり、町の自主財源を確保していく一手法ではありますが、スポンサーとなる事業所の確保や広報のページ数の問題等、さらには公共団体の刊行物における広告であり、町民に誤解や不利益を与えないような配慮も必要となりますので、費用対効果も十分踏まえて検討していきたいと考えています。



北方町の財政状況について

廣瀬和良 議員



問

北方町の財政力指数及び実質公債費比率は、県下でも概ね上位三分の一に入っており問題にすることはないが、経常収支比率が八八・五％と県下ワースト二位になったことには、財政的に余裕がある町と認識していただけに驚きを強く持っています。

経常収支比率がここまで悪化した原因は何か。十九年度以降今後もこの傾向が続くのか。町民にどんな影響がでてるのか。これからの町政の運営を私たちはどんなことに留意していく必要があるのかお聞きします。

答

町長

財政構造の弾力性を示す数字であります経常収支比率が、ここ三年で一〇％も悪化しており、心配しているところでは、主たる原因としては、扶助費の増加で十七年度に比して一六・八％増加、下水道事業特別会計への繰出金のうち経常的経費の割合が前年対比二四・二％の増加となったことに起因するものと思われる。

今我が国の行政は、大きな転換期にあると思っています。経済だけで走り続けた時代が終わり、冷静さを取り戻す時代に入ったこの時こそ、財政の硬直化の避けられない現実を直視して、自治体改革の基本的な視点を持つこと、また新しい行政モデルの追求が必要であると思います。積極的に公共的な活動に関与する住民が増えれば、分権自治が確

答

参事兼総務課長

立し必要なサービスを住民が自ら選択する「参加民主主義」が生まれるのだと思います。このことが、北方町がこれからも北方町であり続けるための必須条件ではないかと思っています。

経常収支比率は確かに危惧する高い数字ですが、県下の市町村平均は八五・二％で実際は県下で三十四番目であり、全国平均は九〇・三％と他の自治体も総じて高くなっているのが現実です。今後とも国からの税源移譲や景気対策にもよりますが、大幅な税収は期待できないことや、年少人口の多い北方町においては、少子化対策である医療費や児童手当等の影響は非常に大きく、このままでいくと経常収支比率が九〇％を越える状況が続くと考えています。よって今後とも、より簡素で効率的な行政システムを確立するため、行政改革を推進し歳出抑制を重点に努め、歳入の確保、主に収納対策を積極的に展開し、新たな自主財源の確保等を検討するなどの

問

増収を図っていかねばならないと考えています。

北方町では十七年度、二十一年度を期間とする行革大綱を作成し町の行革に取り組んでいます。また、今後の行革をどのように進めるのか、特に改善項目の洗い出しをされる場合の視点・方法についてお聞きします。

答

町長

内部的には行革も進み、成果も出ていると思っています。今後は住民の皆さんにも、痛みを共有するというところで、どれだけのご協力ご理解をいただけるかという段階になっ



てきていると思っています。

行政改革特別委員会に審議をお願いしています。いろんな問題については、一定の結論を導き出していただけたと思っています。また、住民生活を直撃をするような問題につきましては、十分に議会でもご審議をいただき、住民との意思疎通を図りながら、実現をすべきものはするという姿勢で、たゆまぬ努力をして参りたいと思います。

問

学校が行っている教育活動全般について、「客観的・総合的に評価して教育活動を改善し、教育を向上させる」という目的を達成するため、これからの学校評価をどのようにしていくのかをお考えをお聞きします。

答

教育長

一年間の学校運営・教育活動全般を見直し、成果と課題をはっきりさせ、次年度に生かしていくという意味で、文科省のガイドラインが出ています。それぞれの学校ではガイドラインが出る前から、学

校評価には真剣に取り組んで来たところです。

望ましい評価のあり方としては、内部評価として学校職員が一年間の取組を評価する一方、外部評価として保護者・地域の方々が評価をする。そして両者の評価の違いを分析し説明・公表し、次年度に生かすという手法が、一層学校運営・教育活動の活性化に繋がると考えています。それぞれの学校と連絡を取り合い、進めていこうと考えています。本年度は学校通信等を通じて評価を公表し、家庭への説明責任を果たしています。



第六次総合計画と 今後の財政運営について

田中五郎 議員



答 町長

第六次総合計画については本年十二月議会で議決いただくことを目的に、作業を進めていく予定です。作成にあたっては業者に全面委託するのではなく、半分は職員の手で作成する計画をしております。只今、住民アンケートの集約作業をしていますので、今後本格的な取組に入る段取りです。

問 他市町との合併の考えは無いと思いますが、第六次総合計画に自らの考えや構想を図るその取り組む熱意をお伺いします。

また、議会と行政の立場を明確にし、責任ある行政運営を求めるものであり、少子高齢化の時代に相応しい町民のための計画に期待します。で、財源確保と合わせての見通しについてお伺いします。

合併問題につきましては、住民投票の結果を忠実に北方町であり続ける方向を模索して、皆様方にもご協力をいただきたいという姿勢で取り組んで参りたいと思います。不況が長引く上に、財政確保を図ると言うことは、非常に厳しいと言わざるを得ません。何よりも行財政改革を徹底し、無駄のない行政を追求することに、心掛けて行くことが必要であると思います。

問

町政百二十周年記念事業は十年の区切りが妥当とお考えでしょうか。また、この厳しい財政状況の中、町民の理解を得る事業であってほしいと考えます。事業の見直し、削減策等、今後の進め方についての理念を求めます。お祭り事で終わる事業は止めて、我々一生に残る記念事業としてほしいと思いますので、明確簡潔なお答えをお願いします。

答 町長

歴史を十年毎に区切るのは機械的過ぎるかもしれませんが、ひとつのけじめとして、町政施行を確認しあうそれなりの意味があるのではないかと思います。計画をさせていただきます。

また、千八百万円の事業費に町民の理解が得られるかは判りませんが、やつてもやらなくても批判を受ける覚悟は必要で、この事業は何としてでもご協力をいただきたいと思っています。経費の節約は言うまでもなく、一過性の行事が多くなりますが、脳裏に

思い出として刻まれる事も、大いに記念事業の成果になる事ではないかと思っています。この百二十周年事業を成功をさせ、我が町の飛躍のきっかけになるように、全力を上げる決意ですのでご協力をお願いします。

次の定例議会は
6 月 です

皆さん、お気軽に
傍聴においでください